

日本材料学会高温強度部門委員会「貢献賞」を受賞

(社)日本材料学会第47回高温強度シンポジウムが12月3日に大分県別府国際コンベンションセンターで開催され、日本材料学会高温強度部門委員会第20回貢献賞を電力技術研究所原子力・材料・化学グループ伊藤研究副主査が受賞し、賞状と記念の盾を贈呈されました。同賞は、高温強度学の発展に寄与し、本委員会活動に対する貢献が顕著な個人に対し贈られる栄誉ある賞です。当社では、技術開発本部杉田本部長代理が第7回(平成8年)に受賞して以来、2度目の受賞になります。

今回の受賞は、発電用ガスタービンに使用されている超合金やコーティングの実機における劣化現象の解明や材料特性回復技術の開発・評価など、ガスタービン材料の高

温強度に関するこれまでの精力的な研究・学会活動が認められたものです。



受賞された伊藤研究副主査

中部科学技術センター顕彰「振興賞」を受賞

エネルギー応用研究所お客さま技術グループ住環境チームの宮田研究副主査が「水道直圧給湯方式エコキュートの開発」により、平成21年度(第8回)中部科学技術センター顕彰「振興賞」を受賞しました。

同賞は、(財)中部科学技術センターが優れた研究開発にて中部地域の産業発展に貢献した企業研究者を賞揚するもので、表彰式が12月3日に名古屋市内にて開催されました。

従来のタンクによる減圧給湯方式に対し、開発機はタンクの高湯湯を熱源として水道水を瞬間加熱する独自の水道直圧利用給湯方式を採用しており、従来機の課題であった給湯圧力の向上を図っています。

斬新性と他熱源転換を促進するユーザーニーズを捉えた製品づくりおよび省エネ性能の向上が高く評価されました。



受賞された宮田研究副主査(技術開発本部内給湯試験室にて)

第13回技術系関係会社知的財産情報連絡会を開催

12月11日、中部電力本店において、技術部門を持つ中部電力グループ会社10社が参加し、知的財産に対する知識・意識の向上およびグループ会社の連携強化を目的とした知的財産情報連絡会を開催しました。



会議風景

連絡会では、各社の近況報告、特許関連情報の紹介(騒音・異音等の対策技術、除草の対策技術、絶縁材取外し新工法技術)、グループ会社における発明発掘コンサルティングや中部電力保有特許の活用促進など、中部電力グループにおける今後の知的財産活動について意見交換を行いました。

参加グループ会社一覧

- | | |
|---------------|---------------|
| 愛知金属工業(株) | (株)テクノ中部 |
| 愛知電機(株) | 東海コンクリート工業(株) |
| (株)シーテック | (株)トーエネック |
| 中部精機(株) | (株)エル・エヌ・ジー中部 |
| (株)中部プラントサービス | |